

# F 研究企画・調整・情報システム・出版・広報

## 1. 研究の企画・調整・評価

### (1) 道立農業試験場長会議

#### 1) 第1回場長会議

期日：平成17年5月23日(月) 9:30~12:00

場所：かでの2・7 1040会議室

議題：

#### 協議事項

・一般試験研究費(科学技術振興課)に係る平成18年度予算編成の考え方

・平成18年度新規課題設定の考え方について

・平成18年度新規予定課題、継続課題の調整に係る会議・事務作業について

#### 報告事項

・行政改革大綱に係る対応について

・「行政改革大綱」との調整を図った「北海道立農業試験場研究基本計画」検討の進め方

・重点研究課題及び技術開発目標の検討結果について

・平成17年度の主な日程

#### 2) 第2回場長会議

期日：平成17年7月28日(木)13:30~17:30

場所：農政部大会議室

議題：

#### 報告事項

・平成18年度の研究課題予算要求に係る調整について

・行革大綱との調整に伴う研究基本計画と整理表の検討について

・平成18年度以降の農業試験場機構素案について

#### 協議事項

・平成18年度全国農業関係試験研究場所長会現地検討会の開催について

#### 3) 第3回場長会議

期日：平成17年8月12日(金)13:30~17:00

場所：農政部大会議室

議題：

#### 協議事項

・行革大綱との調整に伴う研究基本計画関連検討整理表の検討について

・平成18年度以降の農業試験場機構素案について  
その他

・今後の予定

#### 4) 第4回場長会議

期日：平成17年9月5日(月)10:00~17:30

場所：農政部大会議室

議題：

#### 協議事項

・行革大綱との調整に伴う研究基本計画関連検討整理表の検討について

・平成18年度以降の農業試験場機構素案について

#### 報告事項

・「農業試験場研究基本計画(仮称)」の修正について

・研究基本計画策定等に係る今後のスケジュール(案)

#### 5) 第5回場長会議

期日：平成17年11月14日(月)13:30~17:30

場所：農政部大会議室

議題：

#### 報告事項

・平成18年度以降の農業試験場機構素案について

・「北海道農業の重要研究問題」の見直しについて

・平成18年度新規要求課題の調整経過について

#### 協議事項

・遺伝子組換え作物交雑等防止事業について

・成績会議資料(成績書)の配付要求への対応について

・道が保有する植物遺伝資源の提供に係る検討について

・事後・追跡評価の結果について

・指定試験事業研究課題応募意向調査について

・成績会議の開催について

#### 6) 第6回場長会議

期日：平成18年3月22日(水)13:30~17:30

場所：道庁別館12階 共用B会議室

議題：

#### 協議事項

・平成18年度農試機構改正に伴う縮小、中止及び移管予定課題の調整と予算執行について

- ・第19回植物遺伝資源連絡委員会の協議事項について
- ・農業試験会議の開催要綱及び運営要領の改正報告事項
- ・重点研究課題及び技術開発目標の修正について
- ・平成18年度の実施課題について
- ・地域農業技術支援会議の活動について
- ・新たな行革大綱の取り組みについて
- ・平成18年度農業試験場組織機構改正に伴う農業試験場関係規程の改正について
- ・平成18年度道立試験研究機関研究開発方針について
- ・平成18年度研究職員研修事業に係る農試関係派遣候補について
- ・平成18年度の主な日程

## (2) 研究調整会議

### 1) 第1回研究調整会議

期日：平成17年4月25日(月)13：30～15：00

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

「平成18年度新規課題設定の考え方」について  
平成17年度北海道農業試験会議（研究課題検討会議）の開催について

北海道農業試験会議における参加機関以外の出席者について

報告事項：

北海道農業試験会議の各部会主査の指定及び副主査の指名について

予算執行保留に伴う各場の予算状況について

有機農業技術開発事業における研究課題評価検討部会について

### 2) 第2回研究調整会議

期日：平成17年6月3日(金)13：30～15：00

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

平成18年度継続課題の見直し検討について

報告事項：

平成18年度新規予定課題、継続課題の調整に係る会議・事務作業について

ポストブランドニッポン課題応募への対応について

### 3) 第3回研究調整会議

期日：平成17年10月12日(水)13：30～15：30

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

「北海道農業の重要研究問題」の見直しについて  
成績会議資料（成績書）の配付要求への対応について

報告事項：

事後・追跡評価の結果について

指定試験事業研究課題応募意向調査について

成績会議の開催について

外部資金研究に係る留意事項

### 4) 第4回研究調整会議

期日：平成17年12月5日(月)13：30～15：30

場所：中央農試 大会議室

協議事項：

重点研究課題及び技術開発目標の修正について

報告事項：

平成18年度新規要求課題の調整経過について

外部資金獲得のための取り組みについて

成績会議提出課題の場長ヒアリングの開催について

新技術発表会について

設計会議の開催日程について

先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の「緊急課題即応型調査研究」にかかる調査について

平成17年度下期の主な日程について

### 5) 第5回研究調整会議

期日：平成18年1月11日(水)13：30～15：00

場所：中央農試 大会議室

報告事項：

重点研究課題及び技術開発目標の修正について

第19回植物遺伝資源連絡委員会の開催結果について

協議事項：

成績会議の開催について

設計会議の資料の印刷費の負担について

研究機関評価の実施について

園芸作物の品種登録に関する検討状況について

## (3) 北海道農業試験会議

### 1) 研究課題検討会議

平成18年度新規課題設定の考え方

#### 1 課題設定にあたっての基本方針

試験研究課題の設定にあたっては、「北海道農業・農村ビジョン 21」や「食の安全・安心条例」などの農業施策に即し、農業生産者、関係機関・団体、消費者などからの研究要望を重視するとともに、危機的な状況にある北海道財政のもとで課題の選択と集中をすすめることとし、次の事項を基本方針とする。

(1)北海道農業の持続的な発展を図るため、競争力が高く、安全で良質な農畜産物を低コストで安定的に供給する技術開発を推進する。

(2)地域の研究ニーズに対応した農業の振興と農村の発展を支援する技術開発を推進する。

(3)北海道農業に新しい可能性を広げるため、外部資金等を活用して先端的・基盤的技術開発を推進する。

(4)効率的な試験研究を推進するため、選択と集中の視点を踏まえて継続課題の見直しや新規課題の設定を行う。

## 2 新規課題の重点項目

(1)消費者の安心を支えるクリーン農業の普及性をさらに高めた技術の開発

(2)地域農畜産物の低コスト安定生産・品質向上に係る技術の開発

(3)先端技術（バイテク、ナノテク、IT技術）を活用した実用新技術の開発

部会の開催日程及び検討課題数

部 会	日 程	会 場	課題数
総合	H17.6. 6	第2水産ビル	6(4)
作物開発	H17.6. 7 ~ 8	道庁 赤いガ	28(9)
花・野菜	H17.6. 7 ~ 8	第2水産ビル	15(11)
畜 産	H17.6. 7 ~ 8	第2水産ビル	65(42)
農業環境	H17.6. 7	第2水産ビル	11(9)
ｸﾘｰﾝ農業	H17.6. 7 ~ 8	北農健保会館	16(12)
生産システム	H17.6. 8 ~ 9	第2水産ビル	16(10)
農産工学	H17.6. 7	かでの2.7	5(4)

括弧内の数値は、検討課題数の内、新規課題数である。

## 2) 成績会議

各部会に提出され検討した課題について、総括会議で新農業技術として判定された結果は次のとおりであった。

		普及 奨励	普及 推進	指導 参考	研究 参考	行政 参考	保留 成績	完了 成績	合 計
作物 開発	計	5	5	24	2		1		37
	(品種)	(5)	(4)				(1)		(10)
花・ 野菜	計	1	12	5			2		20
	(品種)	(1)	(8)				(2)		(11)
畜 産	計	3	3	13	4	1			24
	(品種)	(3)							(3)
農業 環境	計	2	3	14	1				20
	(品種)								(0)
ｸﾘｰﾝ	計		1	121	1				123
	(品種)								(0)
生産 システム	計		1	80		1			82
	(品種)								(0)
農産 工学	計		2	1	3				6
	(品種)								(0)
総合	計		1	5					6
	(品種)								(0)
計	合計	11	28	263	11	2	3	0	318
	(品種)	(9)	(12)	(0)	(0)	(0)	(3)	(0)	(24)

## 3) 設計会議

北海道における農業関係試験研究機関が行う試験研究課題について、平成 18 年度の設計を決定するための専門部会を平成 18 年 3 月 6 日～3 月 10 日にわたり開催した（てん菜分科会は 2 月 24 日）。各部会に提出された検討課題数は、次のとおりであった。

部会	分科会	課題数
作物開発	稲	56
	豆類	87
	てんさい	53
	麦類・特用作物	102
	ばれいしょ・果樹	79
花・野菜		122
	畜 産	65
畜 産	畜産総合	48
	家畜育種・飼養・管理	48
	家畜衛生・バイテク	48
	草地（品種・栽培）	110
農業環境		158
ｸﾘｰﾝ農業		130
生産システム		112
	てんさい	3
農産工学		56
総 合		38
合 計		1,267

#### (4) 地域農業技術センター連絡会議

##### 1) 平成18年度地域農業技術センター連絡会議定期総会

日 時：平成 18 年 2 月 15 日 11:00 ~ 11:30

場 所：かでの 2・7 1050 会議室

出席者：34 名

- 議 事：・平成 17 年度事業実績及び収支予算  
・平成 18 年度事業計画及び収支予算(案)  
・役員改選  
・報告事項(ブロック会議)

##### 2) 平成18年度地域農業技術センター連絡会議研究交流会

日 時：平成 18 年 2 月 15 日 13:10 ~ 17:10

場 所：かでの 2・7 1050 会議室

出席者：45 名

内 容

- ・話題提供

「経営所得安定対策等大綱の概要について」

北海道農政部農政課主幹 多田 輝美

「クリーン農業の推進状況について」

北海道農政部食品政策課主幹 柴田 弘行

- ・ディスカッション

「地域農業技術センターの活動強化について」

##### 3) 平成17年度地域農業技術センター研究情報交換会

日 時：平成 17 年 9 月 8 日 13:30 ~ 9 月 9 日 11:30

場 所：大野町農業振興センターほか

出席者：61 名

内 容

- ・地域センターの活動報告

大野町農業振興センター 主査 竹内 優

北檜山町農業センター 技師 川本 崇雄

厚沢部町農業活性化センター

農林課参事 亀井 大

- ・話題提供

「大野町・上磯町ハウストマト栽培の概要及び現在の問題点とその解決に向けた取組について」

渡島中部地区農業改良普及センター

専門普及員 山口 和彦

「道南農業試験場におけるトマト栽培研究の流れ」

道南農業試験場研究部

園芸環境科長 中住 晴彦

- ・講演

「知内町におけるニラ生産について」

知内町ニラ生産組合組合長 小西 勝則

- ・その他

平成 17 年度地域農業技術センター連絡会議補正予算について

##### 4) 平成17年度地域農業技術センター連絡会議活動花き部会

・17 年度(第 6 回)部会

期 日：平成 17 年 4 月 15 日

場 所：道庁別館 10 階共用会議室

出席者：14 名

内 容：部会運営計画、試験研究の情報交換

## 2. 情報システムの活用

### (1) 北海道農業情報ネットワークシステム(Hao)の管理・運営

#### 1) 利用状況

平成 17 年度末時点での Hao 登録ユーザ数は、個人 694、(うち研修 13)業務 803、合計 1,497 となった。

#### 2) 電子メールの利用

平均月間利用数は、119 千通で、前年度と比べて約 3 割減少した。これは、迷惑メールを削除するプログラムを導入したことによる。

電子メールは、広く通信手段として利用され、業務の効率化に寄与している。

#### 3) ホームページの作成

Hao は農業技術情報広場、農業試験場・病害虫防除所、農業大学校、農政部、家畜保健衛生所、農業改良普及センター等のページから構成され、総掲載数は 6 万件以上となった。ホームページ全体へのアクセス回数は、平均月間約 191 万件で、前年度比で 35%減少した。

これは、一部プロバイダでプロキシサーバを設置したためと考えられる。

#### 4) 問い合わせへの対応

Q & A ボードへの 42 件の質問と電子メール等による 23 件の質問に対して回答した。

### (2) 営農指導支援システムの整備開発

本年は「ホクシン」に適合性の高いパラメータを用いて、低アミロ化の推定プログラム「低アミロ小麦(ホクシン対応)」を整備した。

また、植物遺伝資源センターが有する約 28,000 点の遺伝資源情報を効率的に管理し、品種開発を加速的に進めるため、道立農業試験場植物遺伝資源データベース検

索システムを開発し、オンラインで一元的に遺伝資源情報を管理し、各試験場で検索できるようにした。

### (3) 中央農試ホームページの作成・更新について

#### 1) 委員会の開催

入札情報や公開データ情報及び場長の所感など、広く道民に対して場の業務等の情報公開を行ったほか、各部にあっても適時ページを更新し、研究成果の情報発信に努めた。

## 3. 図書・資料

### (1) 受入状況

(冊)			
資料名	購入	寄贈	合計
単行本(国内)	10	109	119
単行本(外国)	7	2	9
逐次刊行物(国内)	392	789	1,181
逐次刊行物(外国)	237	49	286

### (2) 資料提供

室外貸出	
場内	場外
963	14

## 4. 印刷刊行物

資料名	発行年月	頁数	部数
北海道農業試験会議議事概要 設計会議 平成16年度	17.6	128	240
北海道立中央農業試験場年報 平成16年度	17.6	123	270
北海道立中央農業試験場事業実施計画書 平成17年度	17.6	68	180
北海道立農業試験場新規課題実施計画書 平成17年度	17.9	175	300
北海道立農業試験場集報 第88号	17.5	73	610
北海道立農業試験場集報 第89号	17.1	88	610
北海道立農業試験場資料 第35号	17.5	97	720
北海道立農業試験場資料 第36号	18.3	118	740
北海道農業試験会議議事概要 成績会議 平成17年度	18.3	77	240

### (3) 製本

外注製本		自家製本
国内資料	外国資料	121
167	90	

### (4) 図書資料購入費

(千円)					
単行本	国内逐次刊行物	外国逐次刊行物	製本	消耗品	計
1,320	820	5,816	316	86	8,358

ただし、各部で別途購入分は除く。

## 5. 広報活動

### (1) 平成17年度中央農試公開デー

テーマ「豊かな食生活を支える品種改良」

日時：平成17年8月4日 9:30～16:00

場所：中央農試庁舎、果樹園、畑

主催：中央農試

後援：岩見沢市、栗沢町、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、JA いわみざわ、JA なんぼろ、JA 由仁町、JA ながぬま、JA くりやま、南空知広域農協連

協力：空知中央地区農業改良普及センター、空知南東部地区農業改良普及センター、空知南西部地区農業改良普及センター

来場者：537名（うち農業者35名）

内容：

・豊かな食生活を支える品種改良シンポジウム

講演

「道立農試における品種改良の取組」

中央農業試験場作物開発部畑作科長 田中 義則

「産地の現状と今後求める品種」

JA ながぬま営農部長 中野 芳蔵

「実需者が求める新品種」

全国味噌工業協同組合連合会長

岩田醸造（株） 代表取締役社長 岩田 雅明

総合討論

アドバイザー

水島 俊一 中央農業試験場長

コーディネーター

新橋 登 中央農業試験場作物開発部長

・試食コーナー（馬鈴しょ、お汁粉等）

・いも堀体験

・畑、果樹園見学

・研究室公開・成果展示

・なんでも相談（土壌・病害虫の診断等）

・体験コーナー（お米の脱穀・もみすり・精米体験、土で絵を描こうコーナー）

・農業機械の展示

・地元農産物・加工品の展示即売会

### (2) 平成18年度中央農試農業新技術発表会

日時：平成18年2月23日 13:00～16:30

場所：長沼町民会館

主催：中央農試

共催：花・野菜技術センター、植物遺伝資源センター

後援：長沼町、ながぬま農業協同組合

出席者：165名（うち農業者41名）

発表課題：

水稲新品種候補

・早生・良食味で直播栽培に適した水稲「上育445号」

・粒が大きくて低温に強い酒造好適米 水稲「空育酒170号（彗星）」

中央農試生産システム部水田農業科 菅原 彰  
畑作物新品種候補

・多収でめん適性に優れた小麦「北見81号」

・疫病無防除栽培が可能な生食用ばれいしょ「北育8号」

・イソフラボンの豊富な大豆「十育241号」

中央農試作物開発部畑作科 神野 裕信  
8月に出荷できる球の大きいたまねぎ新品種

「北見交39号」

北見農試作物研究部畑作園芸科 柳田 大介

バラエティに富んだ花ゆり新品種「Li-26、27、30号、細育4、12号」

中央農試農産工学部細胞育種科長 玉掛 秀人  
生物農薬によるハウスきゅうりの病害虫防除

中央農試クリーン農業部総合防除科 齋藤 美樹

もみながら採苗法によるいちごの省力生産技術

花・野菜技術センター野菜科 大久保 進一

北海道で初めてのりんどうの栽培指針

花・野菜技術センター技術普及部 次長 高宮 泰宏

水稲のYES！ clean 栽培高度化と有利販売

空知東部地区農業改良普及センター

専門普及員 山本 正浩

広範囲な土壌で低コストに施工できる効果的な排水改良「カッティングドレーン工法」

中央農試農業環境部環境基盤科 北川 巖

汎用田基盤整備の効果と畑地転換後の栽培技術

中央農試技術普及部 次長 飯田 修三